

ユニバーサルデザインの国際化の前進に拍手

東京・乃木坂スクール 聴講生

小山笑太

スイッチがものすごく使いやすくなったのも

私は外見は単に痩せているだけですが、生まれつきの欠陥商品のため、記憶力が悪いので、規則を憶えるのに時間が掛かり、失敗を何度も行いやっと飲み込める次第です。例えばカギを右に回せば開けられるものと、逆回しのものがありますが、いつもガチャガチャやって空ける始末です。電気のスイッチもどちら側を押せば点灯すると国際統一してあげればごく簡単なのですが、メーカー都合でいろいろあります。それを一気に解決して頂けたのが、先生方のアイデアのぽっち案でした。そのようなことだとは知らずに、最近ではメーカーも協調的になったものだと感心していました。恥ずかしい限りです。

省庁の垣根を越えた提案を

今後は、経産省関係だけではなく、省庁を越えた連携による発想の転換をお願いできませんでしょうか。

今や飛行機はもとより、鉄道も自動車も国際的に性能が均質化してきています。しかし残念ながら、交通設備やルールの統一はまだまだ遅れています。余りにもローカルルールが多く戸惑うことが多いです。

その一つが鉄道の緊急時対応です。デザインを優先させた結果そうってしまったのかも知れませんが、バラバラな箇所に設置されています。もう桜木町事件のことは忘れてしまったのでしょうか。

一時期、窓は大きく開けられるようになりましたが、また窓を開けられなくした上、非常設備がどこにあるのかさえ分からなくなってしまいました。韓国の地下鉄では大惨事後、どこに緊急避難装置がついているかどう対応すればよいのか、車内で画面を使って常時流しています。

エレベータの設置箇所を示す案内板等の設置の仕方も各鉄道会社でまちまちなのも問題です。

道路交通でも問題は山積みです。交通事故を減らすことにもつながるので是非ユニバーサルデザインにして頂きたいです。2020年の東京オリンピックはおもてなしといいながら、我が国の交通ルールはまちまちなこと多く、多くの外国人が戸惑うでしょう。

例えば、道路交通信号機の作動の仕方です。結果として交通事故を誘発しているようにしか思えません。近年は交通信号機もLEDの世界、青信号の表示を秒単位にし、道路開閉方向を矢印で表示するのは難しくないはずで、現に台湾やスイスなどでは秒単位表示を採用しています。歩行者のためには車道幅も表示してもらえれば、あと何秒待てばよいか分かり無理して渡ったって事故に巻き込まれるようなことがなくなるのではないかと、また無駄に待つこともなくなると思いますが如何なものでしょうか。

この他にもまだまだあると思いますので、今後のご活躍を期待しております。